



通行される方へお願い！

日光国立公園奥日光地域は、
もともとツキノワグマの生息地です。
歩道やその付近をツキノワグマが
通り道として利用することもあります。

出遭わないために！

- ・事前に最近のツキノワグマの目撃情報を確認する。
- ・頻出箇所にはなるべく近寄らない。
- ・単独行動はやめる。
- ・ツキノワグマの行動が活発な朝・夕、天気が悪く薄暗い昼間（雨、霧など）の行動を避ける。
- ・鈴をならすなど、音を出して人間の存在を知らせる。
※川沿いや強風など音がかき消されやすい状況下での行動はできるだけ避ける。

出遭ってしまったら…

※出遭わないことが何よりもの予防法です

- ・絶対に近づかない。
- ・急な動き、大きな音(声)を出すことは絶対しない。
- ・ツキノワグマから目を離さず、静かに、ゆっくり、後退する。
- ・なお、写真の撮影は、クマを刺激するので危険です。🚫

万が一、襲われそうになったなら…

- ・腹を下にして地面に伏せ、両手を首後ろで組んで致命傷を防ぐなどして身を守り、クマが去るのを待つ。

情報受付・発信場所



◆日光湯元ビジターセンター TEL 0288-62-2321

◆赤沼自然情報センター TEL 0288-55-0880

※日光湯元ビジターセンターホームページにて目撃情報・地図を掲載しております。

ツキノワグマって？

日光国立公園にもともと生息する“クマ”は、ツキノワグマです。
“クマが出る”ではなく、“クマがいる”国立公園に入る場合には、クマのことを知り、ヒトのためにも、クマのためにも、ヒトが注意をしましょう。

基本的な性質や生態

●おとなしい性格

ただし、「子連れ」「人の接近に気づかず突発的に遭遇した場合」は、子グマや自分を守るために攻撃行動をとるといったことはあります。

●食物の9割以上は植物

〔7～9月：沢沿いの草本、葉、芽、イチゴ類、木の実、昆虫など
9～11月：木の実（ドングリなど） 他、動物の死体など

●木登りが得意（そのため、鋭いツメと強い力をもつ）

●人より速く走る（時速40km以上）

●音やにおいに敏感

●視力はあまりよくない

●朝夕の薄暗い時間帯は、採食行動が活発

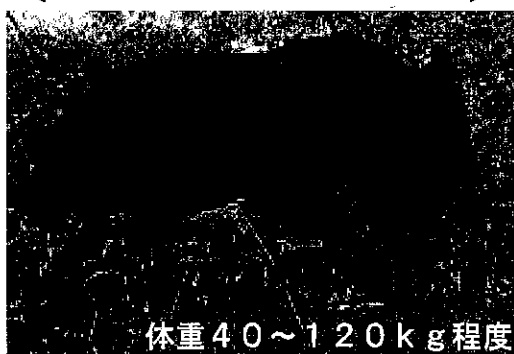
●霧、川沿い、山すそではクマの注意力は散漫になる

クマを刺激する
可能性あり



※草が繁茂している時期・場所は、クマもヒトも見えにくいので要注意！

体長 110～150cm



体高
50
} 60
cm

ツキノワグマに関する情報発信・目撃情報の受付

◆日光湯元ビジターセンター（0288-62-2321）

◆赤沼自然情報センター（0288-55-0880）

環境省 日光自然環境事務所
栃木県 県西環境森林事務所
日光市